

日本原子力学会 倫理委員会（第 104 回）

議事要旨

1. 日 時：2018 年 6 月 19 日（火）13:30～18:00
2. 場 所：日本原子力学会事務局会議室
3. 出席者：大場委員長、三村副委員長、神谷幹事、伊藤委員、宇奈手委員、金山委員、出町委員、中野委員、中村委員、原田委員、福家委員（以上、委員 11 名）
北村オブザーバ
4. 資 料：
 - 倫 104-1 : 日本原子力学会 倫理委員会（第 103 回）議事要旨(案)
 - 倫 104-2 : 企画セッションと研究会の中長期運営について
 - 倫 104-3 : 倫理委員会 2018 年秋の年会 企画セッションに係る企画・準備について（案）
 - 倫 104-4 : 第 22 回（2018 年度上期）倫理研究会について（案）
 - 倫 104-5-1 : 最近の品質不正問題について
 - 倫 104-5-2 : 新幹線異常感知時の運転継続事象への再発防止対策に関する検討結果について
 - 倫 104-5-3 : 日産問題の AESJ 倫理規程「行動の手引き」との関連での考察
 - 倫 104-6 : 標準委員会での倫理規程の講義について（メモ）
 - 倫 104-7-1 : 倫理委員会引き継ぎ事項
 - 倫 104-7-2 : 倫理委員会規程他の改訂（案）
5. 議事概要：
 - (0) 大場委員長より、学会理事の改選に伴う新たな特別委員等について紹介があった。榎田理事が退任し、新たに土田理事が特別委員となる。中島理事、高橋理事、布目理事及び深田理事は継続で特別委員である。また、藤澤理事が委員として参加することになったとのことで、大場委員長が経緯等の把握のため、問い合わせすることとした。
 - (1) 前回議事録の確認
 - 神谷幹事から資料 104-1 により前回議事要旨（案）が説明され、一部記載を適正化した上で了承された。
 - また、議事要旨に記載事項に関連して、以下について確認された。
 - ・これまでの企画セッション及び倫理研究会を通じて議論してきた安全文化に関する取組みを学会員に幅広く還元するため、また、今回の倫理規程改訂の趣旨などを浸透させるため、これらを取り纏めて、倫理委員会の活動報告として学会誌に掲載していくことで検討を進めていくこととする。構成やストーリーは、まずは委員長と幹事で案を作成していくこととする。
 - ・2 月の倫理研究会の結果概要を次回委員会までにまとめる（福家委員）。
 - (2) 企画セッションと研究会の中長期運営について
 - 三村副委員長から資料 104-2 により倫理委員会の中長期運営計画について説明があり、活動予定等について確認した。
 - ・次の倫理規程改訂に向けたアクションを項目として追記し、個別項目に記載の「規程の見直

し検討」は削除する。担当の正は、神谷幹事とする。

- ・倫理研究会は、6月開催分を9月開催とし、12月開催分は見送ることとする。
- ・敦賀発電所敷地内の破砕帯に対する検討は継続扱いとする。情報発信時期は当面ホールドとする。

(3) 倫理委員会 2018 年秋の大会企画セッションに係る企画・準備について

伊藤委員から資料 104-3 により 2018 年秋の大会企画セッションの準備状況について報告があった。本日の議論を踏まえ、各依頼を早急に進めていくこととした。

- ・ JAEA (2 名) から、原子力機構の安全文化に対する考え方、現場における安全文化に対する取組みと事例の紹介を行い、他の組織 (JANSI 等) からコメントをいただく方針で検討している。
- ・ 議論の結果、電中研、JANSI で安全文化に見識がある方を早急に選定することとした。
- ・ 特別委員に座長や開会・閉会挨拶を依頼していくこととした。

(4) 第 22 回 (2018 年度上期) 倫理研究会について

金山委員から資料 104-4 により、2018 年度上期の倫理研究会の検討状況について報告があった。本日の議論を踏まえ、引き続き検討することとした。

- ・ 実施時期は、9 月 27 日、19 日、21 日を候補日とする。場所は東大。
- ・ 講演を 2 件企画するが、1 件は JANSI の有識者に原子力安全と組織文化について、1 件は技術者倫理に関する組織と個人のかかわりで進める。
- ・ パネルディスカッションは、医療関係者、航空関係者、倫理委員会特別委員他で構成することで調整を進める。

(5) 最近の品質不正問題等について

神谷幹事から資料 104-5-1、金山委員から資料 104-5-2、三村副委員長から資料 104-5-3 により、最近の品質不正問題等について報告があった。

本件については引き続き検討し、倫理規程に反映すべき事項を抽出することとした。

(6) 標準委員会での倫理規程の講義について

大場委員長、神谷幹事より資料 104-6 により、標準委員会で倫理規程を講義した結果について報告があり、質疑応答では、東電福島第一原子力発電所事故を踏まえ、事故を起こさない備えとして何をすべきは引き続き議論を深めていく必要があること、国際的にもすでに事故の風化が起きている恐れがあるので、国内外の情報発信がなお一層重要であること等の議論があったことが紹介された。

なお、本件は、これまで大場委員長が対応してきたが、次年度より神谷幹事も対応できるように調整していくこととした。

(7) 理事会における倫理委員会引き継ぎ事項について

大場委員長より資料 104-7-1 により、理事会における倫理委員会引き継ぎ事項の紹介があった。

(8) 倫理委員会規程について

神谷幹事より現在ホームページに掲載している倫理委員会規程、倫理委員会運営内規等について、現状の運用実態にそぐわない点があることについて問題提起があり、議論を行った。

今後、神谷幹事にて改訂案を作成し、検討を進めていくこととした。

(9) その他

(9)-1 技術倫理協議会シンポジウムにおけるテーマ提案について

中野委員から技術倫理シンポジウム（日本工学会技術倫理協議会）のテーマについて提案の依頼があった。以下の意見が提案されたため、次回技術倫理協議会に提案することとした。なお、今年度の議長担当は建築学会になったとのこと。

- ・裁判、法令と倫理のかかわりについて
- ・環境、LCA と倫理のかかわりについて

(9)-2 倫理と安全文化に関わる参考文献について

中村委員から、倫理と安全文化に関わる参考文献とその分類について紹介があった。倫理委員会の推奨図書として HP に掲載してはどうかとの提案があったが、倫理委員会として公式に推奨することは困難であるとの意見が出された。今後、必要に応じて検討を継続する。

(9)-3 東京都市大学からの技術者倫理に係る講師依頼について

大場委員長から、東京都市大学から技術者倫理に係る講師依頼の紹介があった。年 14 回の講義のうちの 1 コマ（100 分）で、事例集の内容等を中心に講義をして欲しいとのこと。調整の結果、神谷幹事が対応することで先方に連絡することとした。

6. 次 回：日時 2018 年 8 月 6 日（月）13:30～17:30

場所 日本原子力学会事務局会議室

以 上